

多数派が当たり前と思っていることが、少数者には厚い壁となって立ちふさがる。耳が聞こえず、うまく話すこともできない斉藤里恵さん(31)がぶつかったのも、その壁だ。そして今、壁に(1)風穴をあけた▼6年前に出した自伝的な①チョショ(著書)『筆談ホステス』で知られる。この4月、東京都北区議選に②リッコウホ(立候補)し、(2)今の選挙が言語や聴覚に障害のある人を「排除している」と感じたという。確かに選挙戦につきものの名前の③連呼(れんこ)一つとっても、「音」を発し、それを聞くことが④ゼンテイ(前提)だ▼トップ当選し、きのう初の本会議に臨んだ。区議会は全国初という新システムを用意して新人を迎えた。区長や⑤ドウリョウ(同僚)議員の発言が直ちに文字に変換され、手元のIT⑥タンマツ(端末)に表示される仕組みである。斉藤さんは私有パソコンに文字を打ち込み、音声に変換して自分の発言とする▼⑦議場(ぎじょう)が聴覚障害者に開かれたことを喜びたい。(3)「欠点は才能である」。斉藤さんは人にそう言われたことがあるそうだ。

(4)ハンデイキヤップを強みに転じて、(5)バリアフリー社会の実現に⑧エイイ(鋭意)取り組んでほしい▼少数者が声を上げ、(6)当たり前の壁を突き⑨クズ(崩)す。全国市議会議長会はきのう、女性議員が出産を理由に議会を欠席できるようにするよう、各議会に⑩促(うなが)すことを決めた。ようやくとはいえ一歩前進だ。同性愛など性的少数者も声を高く上げつつある▼来歴から価値観から人は一人ひとりが違う。違いを理由に排除せず、互いの違いを生かしあう。(7)多様性を尊ぶことで社会は強くなる。

〔2015年5月27日「天声人語」〕

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを答えなさい。

問二 傍線部(1)について、(A)一般的な意味を答え、(B)斉藤さんが「風穴をあけた」ことを、原文中から15字で抜き出そう。

(A)：(伝統や慣習に慣れた世界の現場に新風をふき入れた。)

(B)：(議場が聴覚障害者に開かれたこと)

問三 傍線部(2)の具体例を「立候補者の名前の連呼」以外に、一例あげてみよう。

〔答例〕(演説会場に、障害者が演説するに必要な機器がそろっていないこと。)

問四 傍線部(3)の具体例を一例考えてみよう。

〔答例〕(ミロのヴィーナスの両腕が欠けているために無限の想像が膨らむこと。)

問五 傍線部(4)(5)を説明したそれぞれの文の()に共通する2字熟語を書き入れよう。※その熟語は文中にも使われている。

(4)その人にはどうすることもできぬものとして負わされている身体(障害)。

(5)高齢者や(障害)者が安全で快適な生活ができるように、階段や段差など(障害)となるものをなくすこと。

問六 「同性愛の性的少数者」にとって、傍線部(6)の具体例を考えよう。

〔答例〕(婚姻は異性カップルのみに成立するのが当然という社会常識の存在。)

問七 傍線部(7)の理由を答えよう。

〔答例〕(多様な人間を生かす柔軟な社会システムが生まれるため。)

問八 15字程度で見出しをつけよう↓(筆談区議が議場にあけた風穴)